

小児発達相談室 受診の保護者様へ

(相談室受診同日に歯科受診も可能です)

当院は、歯科医院の中に小児発達相談室を設けております。
ですので、相談室受診同日に歯科受診も可能です。

小児発達相談室の受診当日に歯科受診をご希望の方は受付までご遠慮なくお伝えください。

当日は、以下の対応が可能です。

- ①検診、フッ素塗布（継続的受診も可能）
- ②舌小帯短縮症の確認（後日当院での手術を行えます）
- ③小児専門の言語聴覚士への紹介（堺市立総合医療センター等）

時間帯によっては、多少の待ち時間がある可能性もありますが
できるだけお待たせしないよう配慮させていただきます。





小児のむし歯予防の大切さ

現在、お口の健康は大人子供に関わらず、全身の健康に大きく影響することが様々な分野で分かってきております。

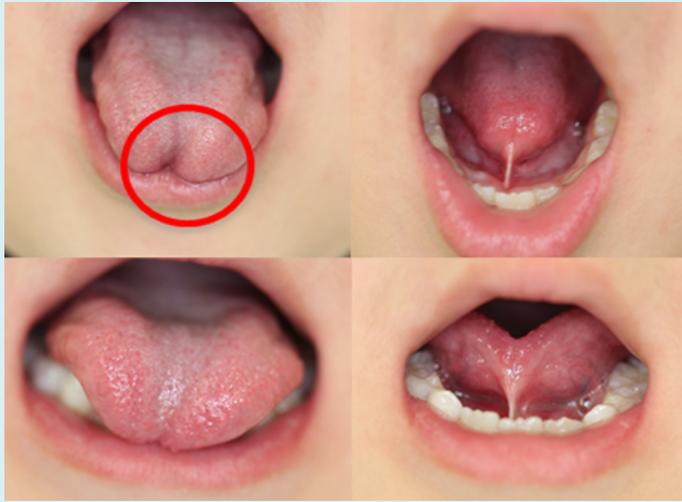
乳歯や萌えたての永久歯は大人の永久歯と比べてフッ素を非常によく取り込みます。また、乳歯の時期にむし歯がないお子様は永久歯になってもむし歯が少ないことがわかっております。ですので、乳歯の時期からむし歯予防することは非常に意味があります。

むし歯予防には定期的（3か月毎）なフッ素塗布が効果的なことが分っております。

小児発達相談室の同日にフッ素塗布をご希望の方はご遠慮なく受付にお伝えください。



舌小帯短縮症の治療



手術前



手術後（6ヶ月経過）

舌の運動が制限され、**ら行、さ行の音に影響が出ます**。通常大学病院へ紹介されることが多い症例ですが当院では、手術だけでなくその後の発音練習も行うことができます（当院院長は大学勤務時代より多くの舌小帯短縮症の治療を経験しております）。

手術は就学前後に行うことが多く、手術後は6ヶ月程度発音練習が必要です。また、**10歳を過ぎて手術しても改善は認められないとされています**。

小児専門の言語聴覚士と連携

当院では、**小児専門の言語聴覚士と連携**して医療を行っております。

当院が直接ご紹介できる小児専門の言語聴覚士は堺市立総合医療センターに在籍しております。医療センターへは口腔外科への紹介が窓口になります。手続きや治療の流れが少し複雑のように思えるかもしれません。

当院は、医療センターの連携医療機関ですので、できるだけ患者様がスムーズに医療センターと連携できるよう当院と医療センターの地域連携室で連絡を取ります。

また、医療センターの小児専門の言語聴覚士は、当院院長の知人（言語聴覚士）の紹介で連携した方なので、事前に知人を通じて情報を先方へご説明しておくことができスムーズに連携できます。

紹介ご希望の方は、受付にお伝えください。
他の地域の方は、その旨お話いただければ
各地域での言語聴覚士をお探しいたします。

